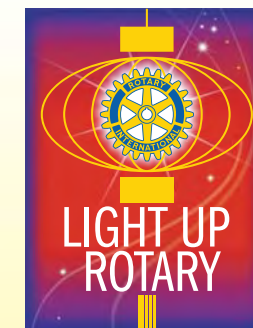
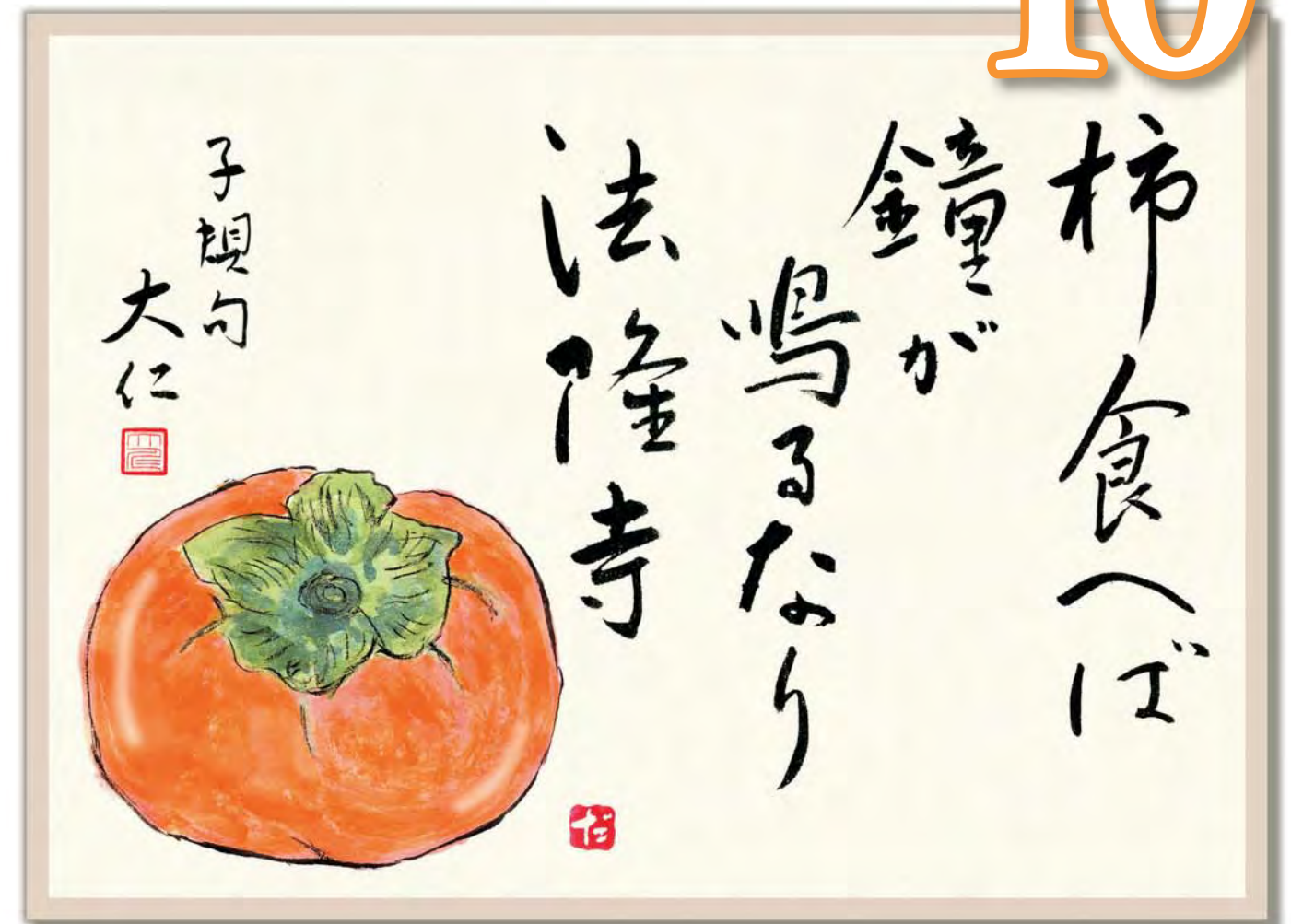


2014-2015 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 10



はぶあ  
ナイス  
10月

伝教大師最澄は、(767年-822年)天台宗の開山で、比叡山を若い僧の育成の道場として開いた。延暦21年(804年)、還学生(げんがくしょう)国費留学生として遣唐使船で唐に渡った。同期に弘法大師空海がいた。空海は私費留学生として唐に渡るが、二人の運命的な邂逅はここに始まる。

最澄は、天台山に赴き、道邃(どうずい)和尚から天台教学と大乘菩薩戒、行満座主から天台教学を学んだ。また、順暁阿闍梨より密教、儵然(しゃくねん)禪師より禪を学んだ。既に中国では天台は衰退し、密教が勢力を増していた。そこを見極め多くの経典と密教の教義と法具などを取り集めて帰国した最澄は、天台宗を開いた。天台宗は、法華経を中心に、天台教学・戒律・密教・禪の四つの思想をもとに学び四宗相承が最澄の学問の特徴である。延暦寺は総合大学的な学びの場としてやがて鎌倉に大きな花を咲かせるのである。

最澄の大きな功績は、「山家学生式」を桓武天皇に奏上したことにある。比叡山で得度した者は、12年間山を下りず修行に専念し、終了した者は比叡山で後進の指導にあたり、日本各地で仏教宣布のために尽くした。最澄は大乘戒壇の設立を訴え、最澄の死後(822年)7日のち漸く許可されたのである。比叡山寺は「延暦寺」の勅額を授かった。これを機に延暦寺は仏教教学の権威となり、南都(奈良の仏教)に対し北嶺と呼ばれるようになる。歎異抄の第二章に「南都・北嶺にもゆゆしき学匠達多く在せられて」とあるように平安時代末期には仏教の二大勢力となった。

山家学生式には「一隅を照らす 此即ち 国宝なり」とある。「一灯隅照・万灯照国」が最澄の目指した「人づくり」「若者の育成」であった。やがて鎌倉新仏教の祖師たちを輩出するのである。浄土宗の法然上人、浄土真宗の親鸞上人、時宗の一遍上人、臨済宗の栄西禪師、曹洞宗の道元禪師、日蓮宗の日蓮上人、各開山は比叡山延暦寺で学んだ菩薩僧であった。

CONTENTS

- ガバナーメッセージ ..... 1
- 地区職業奉仕月間に因んで ..... 2
- 米山月間に因んで ..... 3
- 米山学友会の過去と現状そして未来 ..... 4
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員会から/米山便り ..... 5
- ガバナー公式訪問便り ..... 6~9
- ロータリーデー報告 ..... 10
- 北海道新聞掲載記事 ..... 11
- クラブ紹介(第3グループ) ..... 12~13
- ロータリーの友取材に同行して/新会員のご紹介/訃報 ..... 14
- 米山記念奨学会・ロータリー財団へのご協力への感謝/文庫通信 ..... 15
- 2015年サンパウロ国際大会のご案内(第一報) ..... 16~17
- ローターアクト地区協議会報告 ..... 18
- 出席率・会員数 ..... 19
- 地区カレンダー(10月・11月) ..... 20

クラブ会長様  
クラブ幹事様



国際ロータリー第2510地区  
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)

10月はロータリーの職業奉仕月間です。職業奉仕のことが良く分からないといわれます。1906年シカゴクラブに入会したシェルドンが提唱した「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」は、ロータリーの本質ともいえる職業奉仕理念の一つです。

自己の職業の倫理性を高め、従業員や家族に対する責任を果たすことに裏付けられた事業が顧客の満足と感謝を生み、信頼が生まれ、永続的な利潤に繋がる。人生哲学としての職業奉仕とされています。さらに自らの専門知識を通じてお互いのアイデアを交換し、地域社会や国際社会に貢献していくと考えられています。

私なりに解釈すると「自分の仕事を一生懸命に尽くして、相手が喜んでくれるようになれば良い」ということになります。

私は寺の住職です。何一つ売るものはありません。仏教では僧伽の成立以来色々な作法が出来て、布施(感謝を込め当時貴重だった布を施した)に対して法施(教えを施す)とあります。

だから私の職業奉仕は、相手の喜ぶようなお話をさせて貰う事が第一かも知れません。今は忙しい時代ですから、余り長くなく、短すぎず、丁度良い加減のところで終わることを心掛けています。

正信偈の一文に「大悲無倦常照我」とあります。これは阿弥陀様という仏様は、何時も私たちの事を思い続け、決して飽きることなく、常に我が身を照らして下さる。

私は阿弥陀様の光を自己の鏡として、そこに映る我が身の醜さを、煩惱具足のままに生かされてきたことに慚愧するばかりです。

「四無量心」というお話を公式訪問でしました。その四つとは慈・悲・喜・捨です。慈無量心とは相手を思う心が無量(永遠)である。悲無量心とは相手が悲しむと一緒に悲しむ。喜無量心とは相手が喜んでいたら一緒に喜び合う。最後の捨無量心とは、いつまでも執着しようとする心を捨てる(握りしめない)こと。

慈悲と喜捨と二つずつ読むと解り易いと思います。慈悲は相手を思いやる心で、喜捨は有るものと無いものはお互い融通して貪ってはいけなさと読むことが出来ます。

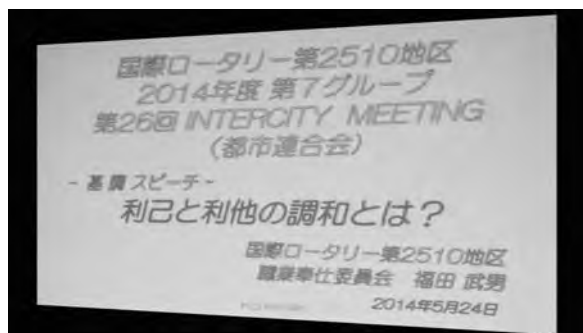
ロータリーの奉仕の理想は思いやりだ、と教えられて来ました。大悲の光に生かされていることに報恩感謝する。ひとまず我を置いて「超我の奉仕」が実践されるように思います。

## 職業奉仕月間に因んで ロータリーの 奉仕理念を伝えること

地区職業奉仕委員会  
委員長 福田 武男(千歳RC)



10月はRI理事会が指定している職業奉仕月間です。これは10月は職業奉仕をしようという意味ではなく、職業奉仕に対して会員の理解を推進しようという月間です。すなわち職業奉仕理解推進月間なのです。1970年、現在の第2580地区(東京・沖縄)にて、東京東RCの神守源一郎PG等により地区職業奉仕委員会で提案され、職業奉仕週間として始まり、大阪を始め瞬く間に日本中の地区で採用され、数年後にはRI理事会により10月15日を含む一週間を職業奉仕週間、1984年より現在の10月が職業奉仕の特別月間に指定されたものです。



ではその職業奉仕とは何でしょうか。それは自分の職業を遂行するにあたって、奉仕の理想(理念)を遂行し、更に事業および専門職業に携わるロータリアン以外の人々にも奉仕の理想(理念)を奨励し広めることでもあります。一言でいうとこんなに簡単にも表現できますが、これを理解することはなかなか難しいと云われています。何故でしょうか。それは奉仕の理想(理念)という言葉の意味が分かり難いからでしょう。しかしながらよくよく考えてみるとこの言葉はロータリアンであればいつも嫌という程目にしている文言です。どこに在るかという、ロータリー例会で最もよく歌われている「奉仕の理想」にありますし、それ以前に「ロータリーの目的(綱領)」にもはっきりと書かれています。ロータリーの目的を意識すると、例会における会員同士の切磋琢磨により奉仕の心を涵養し、その心をもって自らの職業

を律し、そして更に周囲のロータリアン以外の方々にもその奉仕の心の大切さを訴えていこうと云うことなのであります。

ところがまた問題があります。その「奉仕の理想(理想)」というけれども、平たく言えば「奉仕の心」であり「奉仕の気持ち」でしょうが、そもそも「奉仕」とは一体何でしょうか。日本語で云う「奉仕」という文言は英語の「Service」を邦訳したものです。日本語の「奉仕」は、国家・社会などのために損得を考えずに尽くすこと、品物を安く売ること、つつしんで(神仏)などに仕えること、などの意味で使われますが、ロータリーではこのような意味で使っている訳ではありません。そうです、英語のServiceに該当する日本語がないのです。これがロータリーの職業奉仕をたいへん解り難くしている大きな原因でしょう。ロータリーの職業奉仕を理解するのは、このServiceという言葉、すなわち奉仕の理想(理想)、Ideal of Serviceという言葉を理解することには不可能なのです。クラブの職業奉仕委員会の最大の活動は、職業奉仕というものを会員に理解してもらうこと、すなわち究極はこの奉仕の理想を会員に理解してもらうことなのです。

そして各ロータリアンは自己の高められた心の境地の程度によって、自己の職業は勿論、自分を取り巻くすべての世界でサービスの心を実践していこうとするもの、これが私達が参加しているロータリー運動です。



## 米山月間に因んで

地区米山記念奨学委員会  
委員長 渡邊 葉子(札幌西北RC)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会定款に以下の記載がございます。

第3条(目的)この法人は、勉学又は研究のため来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とする。

1952年東京ロータリークラブの単独事業として始まったこの事業が、わずか5年で日本全国の共同事業へと発展。世話クラブ制度の設置。財団法人認可。カウンセラー制度の設置。免税措置の認可。学友会の発足。アジア圏の枠組みが取れ、すべての国・地域から採用。ホームカミング制度スタート。2012年公益財団認可と事業内容も充実し、対外的認知度も増して参りましたのは、多くの皆様から支持を得ている結果でございます。

当地区におきましても、各クラブから普通寄付に加え多くのロータリアンの皆様から特別寄付を頂いております。しかしながら目標額には、まだまだ届かず、どの様にしてこの事業の素晴らしさをご理解いただくかが課題となっております。今年度は、羽部ガバナーのご支援により、ガバナー月信に奨学生からの寄稿を掲載していただいております。奨学生が会員の皆様に感謝していることが伝わると幸いです。



又、直接奨学生のお話をお聞きいただき、交流の機会を設けていただけたらと考えております。米山セミナーの奨学生卓話で、「お伺いいたしますの

で呼んでください」と奨学生が申し上げたところ昨年の倍近いご依頼が来ており、大変嬉しく思っております。



今期最初が8月26日、クラブフォーラムへ奨学生をお招きいただき一緒にお伺いして参りました。入会年次の浅いロータリアンから「寄付金が役立っているのが実感できた」と言っており、この上ない喜びでございました。委員の皆様のご多大なご協力、自クラブ以外へ一度は奨学生をお連れいただくこととなっております。その折にはご協力くださいますようお願い申し上げます。

米山月間のみならず、いつでも是非奨学生との交流をご検討ください。奨学生は、カウンセラー・世話クラブは勿論多くの皆様に支えられ勉学に励んでいることを感じると思います。

又、ロータリアンの皆様も海外から日本を選び留学し言葉・文化の壁を乗り越え勉学に励んでいる奨学生から、明るい次世代を感じ取っていただけるものと確信しております。

地区大会において個人平均寄付金額の多いクラブの表彰を予定いたしております。皆様からの寄付は全て奨学金と事業費に使用されております。(管理費は文部科学省の指導を受け、積み立てられた基本財産50億円の利子で賄われております)地区目標に少しでも近づき当地区の米山記念奨学事業が活発になることを祈念しております。どうぞ皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

# 米山学友会の過去と現状そして未来

地区米山学友委員会  
委員長 半田 善行(小樽RC)



地区の先輩と現役の皆様が積み重ねてきた実績の一部を紹介いたします。

米山学友会の前進は、日本ロータリークラブの創設者米山梅吉翁の没後、その功績を讃え1952年(昭和27年)東京RCが奨学事業を立案。その後「米山記念奨学会」を設立し、現在は「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」で民間最大の国際奨学事業となっており、米山学友会の事務局もこの中にあります。

米山学友会とは日本全国ロータリアンの寄付金で米山奨学生の奨学金終了後、全員が「米山学友」となりますので、米山学友はすべて元米山奨学生が対象となります。元米山奨学生が結束し設立した会でもあります。これまでに1万7千人の学友が国内外でロータリーの奉仕の理念を持って活躍しています。ロータリアンの皆様はご承知と思いますが、新会員の方々に一言歴史をご紹介します。

国外での米山学友会の発足は、1983年に台湾、1989年に韓国でした。しばらく間があって、20年後の2009年中国、2012年タイ、2013年ネパール、なんと今年2014年3月にはモンゴルに設立されました。この5年間で4ヶ国に設立されたことになります。これは、皆様と先輩達の長年にわたる地道な活動とその蓄積が、米山学友会の発足へと実を結んだ結果です。いつかは、険悪なアジア情勢の国々にも学友達が貢献する日がくるかもしれません。

近年のおもな学友からの援助としては、東日本大震災の義援金1,000万円超、奨学会への寄付も2,000万円を超えています。

日本では米山学友会を中心として発足したRCもあり、2010年東京友愛RC、2012年東京ロータリーEクラブ(インターネットで例会)が設立しています。当2510地区では、1998年に学友会が設立され、現在地区内で50名ほど活躍しております。彼らの職業は、大学の講師、サラリーマン、なかには自立して商売をしている方もいます。最近では3年連続でメンバーが結婚し、地区に根付いています。

第2510地区の学友会の役員は設立以来、陳会長(台湾)、副会長2名(中国男性・女性)、会計1名(中国女性)、幹事6名(中国男性3名・女性1名・韓国女性1名・ベトナム女性1名)で構成しています。私の地区の役割は「米山学友委員会」で米山学友会の活動をサポートすることで、2003年に委員会が設立されました。年数もまだ浅く私で5代目の委員長で、初代の委員長は小樽南RCの見延さんです。

又、塚原パストガバナーが米山記念奨学会の理事を務め改革に努力していると聞いております。今後も米山記念奨学委員会と米山学友委員会の活動の支援をどうぞよろしくお願いいたします。



米山学友会(北海道)家族懇親会

## 私の雑想ノート No.4

### 職業奉仕は日本が元祖 土屋元作

パストガバナー  
塚原 房樹  
(札幌東RC)



今月は、「ロータリーの日本化 大夢翁土屋元作伝」をご紹介します。土屋元作という名前は、一部の限られたロータリアンを除いてほとんど知られておりません。しかし日本のロータリーの草創期において欠くことのできぬ、また忘れることのできない人であります。

土屋大夢は「荒城の月」で有名な滝廉太郎と従兄弟にあたり、日本ロータリー草創期に大変な功績がありました。米山梅吉さんは19歳の時渡米しましたが、土屋大夢さんも20歳の時渡米しました。そのころちょうどシカゴで万国博覧会が開催され、そこでアルバイトをしていた二人は顔を合わせ、それから兄弟のような親交が始まりました。

大阪クラブの土屋さんは東京クラブの米山さんと東西相呼応して、日本ロータリーの草創期発展に大きく貢献されました。土屋さんは1921年米国を旅行中、ナッシュビルRCの例会に出席して、「ロータリークラブ以前のロータリアン」というテーマで二宮尊徳翁の話を流ちょうな英語で話されました。その日本語の一部を「大夢翁土屋元作伝」より要約してご紹介します。

“GREAT ROTARIAN BEFORE THE ROTARY” 「ロータリークラブ以前のロータリアン」  
【尊徳先生はある日、門人と入浴の際、その門人に向かい「これ見よ。この湯の水を我が方に掻けば向こうへ流れ、向こうへ押せばかえってわが方に流れてくる。早く掻けばますます速く流れてくる。これがすなわち天理というものである。仁義などということも、平たく言えばこの湯を向こうへ推すことで、不仁義というは此の方へ掻くことである。人間の手の形は禽獣の手の形と違う、禽獣の手は、ただ手前に掻くことができ向こうへ推すことができぬ。人間の手は掻くことも推すこともできる。ゆえに人間の道は禽獣の道と違わねばならぬ。なんでも、好いことを手前に掻き取ろうとすれば、人間変じて畜生となるぞ」と申されました。このスピーチはナッシュビルRCの会員に日本には二宮尊徳という人があり、ロータリーの信条と同じ教訓が早くから存在したということと告げて、大いに喜んでもらった】とあります。  
「人もし何か欲するところがあるならまず他人のために働くが好い。そうすれば必ず人に報いられるであろう」この尊徳先生の教えは、シェルドンの「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という標語より80年も前に、すでに日本にあったことを知るのには驚きです。まさに尊徳先生は「ロータリークラブ以前のロータリアン」でした。

## 職業奉仕委員会から

### ロータリーの本の紹介

「我が自叙伝」

ハーバート・J・テラー 著

菅野 多利雄PG(1976~77、RI2810地区) 訳

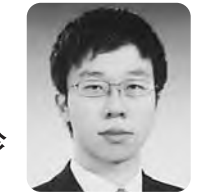
10月の職業奉仕月間に因り、1945~55年度のRI会長を務めたハーバート・J・テラー氏の自叙伝、「我が自叙伝」の一読を勧めます。ご存知のように彼はロータリーの職業奉仕では最も重宝されている「四つのテスト」の発案者であり、その一部を紹介すると...すべては正しく考えるか、間違えて考えるかのいずれから始まる。神がエレミアに告げられた御言葉を、現代風に覚え易く言いかえた「四つのテスト」を、青年男女が応用すれば、彼等は必ずや自己相応の大切な使命を見出すことになるであろう。

### 職業奉仕のミニ情報

時には「四つのテスト」の原文(英文)を使うことが何故効果的であるのか。  
(1) TESTと単数であるので、このテストが4つあるのではなく、「ロータリーの目的(綱領)」のように一つのテストであることが確認し易い。  
(2) 原文には「think」とあるが、2012年までの邦訳ではこの言葉が省かれて訳されていなかった。「思い」こそ人間の活動一実践で最も大切なこととハーバート・テラーは述べているように、「思い」の大切さを確認することができる。  
(3) 邦訳では「to all concerned」が省略されていて、「すべての関係者にとって」という文言がないので、この「テスト」は本来は商取引に使うのが基本であることが伝わり難くなっている。  
...よって時には原文をそのまま唱和することも、会員の職業奉仕をより推進することになるのでは。そしてハーバート・テラーが述べています。「まずは、暗記することから始めて下さい」と。可能であれば原文24語でも。

## 米山便り

米山奨学生 バク ヒョンジン  
朴 炫珍  
(札幌西RC)



去年2013年の春、私は自分の人生で重大な決定を下しました。韓国で3年間働いていた会社を辞めて、北海道大学大学院で博士に進学することを決めたのです。進学後、以前から興味があった「気泡による船舶の抵抗を減らす技術」の研究を北大で始めたのは良かったのですが、色々と苦勞が続きました。今までの貯金を崩しながら勉強をして、また、足りない生活費を賄うために勉学の時間を割いてバイトをする、そのような大変に忙しい生活が続きました。しかし、今年の春、米山奨学生になってからはその生活が少しずつ変わり始めました。ゆっくりと研究に専念でき、最近では国際ジャーナルに論文を掲載しました。また、生活にも余裕ができて、今年の夏には日本人の友達と北海道の広大な自然の中でキャンプをしたり、温泉も楽しむことができたのです。全てがロータリークラブの皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。自分もいつか困っている人を支えられる人になって、皆さんから受けた恩を多くの人に返したいと思います。

# /ガ/バ/ナ/ー/公/式/訪/問/便/り/

## 七飯ロータリークラブ 7月22日(火)

7月22日、羽部ガバナー、柳ロータリーの友地区代表委員、小泉ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

まず4時30分から、会長、会長エレクト、直前幹事との懇談会です。新体制になってから日も浅いため、緊張気味にガバナーをお迎えしましたが、会長が既にPETSで顔見知りの事もあり、すぐに打ち解けガバナーの豊富な話題に聞き入っているうちに1時間が過ぎてしまいました。

五大奉仕委員長を加えてのクラブ協議会では各委員長が活動計画を発表しましたが、過大な褒めの言葉をいただき、是が非でも計画を実行に移さねばと決意いたしました。

写真撮影の後例会です。楽しく夕食をいただいた後、ガバナーの講演を拝聴いたしました。

GETSのスライドもなく、米山や財団への寄付の要請もなく、全時間をロータリーの神髄に迫るお話をされ会員一同感銘深く聞き入りました。



## 苦小牧北ロータリークラブ 7月29日(火)

7月29日(火)、国際ロータリー第2510地区 2014-2015年度ガバナー羽部大仁様、ガバナー補佐手塚貴志様、地区幹事深井亨様をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

16時よりガバナー、ガバナー補佐、地区幹事と会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、クラブの現状や今後の方針について説明しました。

17時からはクラブ協議会を開催し、各委員長より今年度の活動計画の説明がなされ、羽部ガバナーより講評をいただき終了しました。

18時10分からの例会では羽部ガバナーよりRIのテーマ、地区の目標、ポリオ等についての卓話をしていただきました。

終了後会場を変えガバナーを囲んでの懇親会を和やかな雰囲気で行われました。羽部ガバナーから「真面目なクラブで、何も心配していません」と最大級の賛辞をいただきガバナー公式訪問が終了しました。

羽部ガバナーには、当日の午前中には千歳セントラルクラブで公式訪問とハードスケジュールの中、当クラブを訪問いただき、心から感謝申し上げます。



## 由仁ロータリークラブ 7月31日(木)

7月31日(木)午前10時、後藤篤人会長と大坂直人幹事に迎えられ、由仁町にある庭園施設「ゆにガーデン」中庭のテーブルを囲み会長・幹事懇談会が実施された。

後藤会長は会長就任5回目、大坂幹事は幹事就任3回目のベテランの会長と幹事で、良くロータリー活動を周知しており、菊池重敏第7グループガバナー補佐の司会進行で和やかな雰囲気の中で有意義な意見交換が行われた。後藤会長から「本年度は会員増強に絞って実施したい」との強い行動指針が示された。最近では会員の高齢化による退会が続き苦戦してきたが、すでに2名の新入会員を迎えたとの報告があった。

クラブ協議会も同じメンバーで進められた。会長・幹事から活動計画書の提出をいただき、それに沿って意見交換が行われた。23年間継続している桜樹木管理と環境整備、子供の交通安全運動についても実施していくとの方針である。

例会場は、国旗・クラブ旗・年度テーマ旗が整然と並べられ、歴史と風格を備えた会場に整えられていた。後藤会長の点鐘で開会され、ロータリーソング「奉仕の理想」を全員で唱和した。ガバナーからは、RIテーマ「ロータリーに輝きを」を推進し、「一人一人が輝こう」と話され、4つの地区目標についても説明し、参加者の皆様に協力を求めた。

最後に、お釈迦様の法句経から「死すべき命今日あるは有り難し」を紹介し、ロータリーの「超我の奉仕」と仏教の教えとは相通じるところがみえますと結ばれた。



## 栗山ロータリークラブ 8月5日(火)

当日は、羽部ガバナーと磯野ガバナー補佐、中川地区幹事を迎えて、小室会長、伊藤幹事、他3名の計8名による和やかな懇談会が始まった。

続いて、クラブ協議会、通常例会へと進行したが、その際、羽部ガバナーより新会員3名にロータリアンとしての感激のバッジの授けがなされた。

ガバナー卓話においては、「地区の戦略計画とクラブの戦略計画」等の目標について、ユーモアたっぷりの説明があり、学びの中にも楽しさあり有意義な例会であった。

とりわけ、我がクラブの「ポリオ撲滅募金活動」計画に対し賞賛をいただき、会員一同に一層の意欲が喚起された。早速、例会場ホテルカウンターに設置した「募金箱」に羽部ガバナー、磯野ガバナー補佐、中川地区幹事はじめ会員有志が募金をし、撲滅運動が開始された。



## 留萌ロータリークラブ 8月6日(水)

8月6日(水)午前10時、ガバナーからは、「1993-94年度の富山惟夫ガバナーの時に地区大会幹事を務めたことがあり、以前からぜひ訪問したいクラブの一つである」と伺っており、私も留萌RCの訪問を楽しみにして参りました。

当日は、第1グループ村中俊二ガバナー補佐に同行(渋谷ガバナー補佐室長、成田ガバナー補佐副室長も同行)していただきました。

会長・幹事懇談会は、クラブから森俊二会長・西谷恭治幹事・西谷英樹会長エレクトの3名が同席して、村中ガバナー補佐の司会進行で進められました。ロータリーデーのことが話題になり、「去る7月26日の『やん衆あんどん祭り』に併せてポリオ撲滅キャンペーンを実施すべく『END POLIO NOW』が施されたキャンペーンシールを貼付した3,500個のお菓子袋を用意し、準備を進めていたところ当日大雨になり中止になり残念であった。」との報告がありました。代替えとして8月の盆踊りにて実施することです。

クラブ協議会に進み、ガバナーから挨拶があり、21年前のこと、富山バスターガバナーのことが脳裏を過ぎたのでしょうか。しばらく言葉に詰まりました。同席された皆様も同じ思いになり、ガバナーの優しさを感じ取ることが出来ました。

例会においても、永年お付き合いのある会員に気さくに声を掛けられておられました。

卓話では、「奉仕とは相手を思いやること。人は会うべくして会うものであること。交流を通して多くの仲間が出来ました。留萌に来て本当にそう思います。」と感謝を込めて話されました。



(文責 地区幹事:中川信喜)

## 羽幌ロータリークラブ 8月7日(木)

去る8月7日(木)、羽部大仁ガバナーは羽幌クラブを訪問されました。先日の大雨に因る崖崩れで国道が寸断され、迂回路を使って、しかも羽幌到着時間が大幅に早まっています。道路事情等を知り、早めに現地を離れたためと推察し大変申し訳なく、又ご苦勞をお掛けしてしまいました。

定刻通り会長・幹事会、クラブ協議会へと進み、ガバナーからポリオ撲滅支援、地区史発行への協力要請を受け、一段落したところで余談になり、羽幌クラブにはガバナーによるクラブ評価を、1から5段階ある内の「5」にしてくれるとの言葉を聞き、大変嬉しく思っているところですが、実際はどうだったのか心情的不安な面もあります。

私事ですが「羽幌クラブ会長の年度スローガンは素晴らしい」「幹事のクラブ紹介文も大変良い」とガバナーに褒められ、夢心地に暮っている昨今であります。しかし次には地区大会を控えており気合を入れ直して全員の協力を得ながら、やさしく温厚なガバナーの本拠地、札幌に向けての準備に余念がありません。



## 蘭越ロータリークラブ 8月18日(月)

8月18日(月)午前10時、例会場のふれあいプラザ21にある蘭越商工会応接室において、志比川第6グループガバナー補佐、白石勇会長、山田一晴幹事、本間義明会長エレクトが同席して会長・幹事懇談会が開催された。ガバナーがロータリーデーの取り組みについて尋ねたところ、会長は毎年恒例となっている一灯園交流祭に併せて街頭募金と広報活動をしたとの報告があった。また、児童養護施設「北海愛星学園」へのクリスマス会への慰問、毎年1月中旬に行われる「少年百人一首カルタ大会」への財政援助も継続実施することが報告された。

ガバナーからは、会員数が11名の少人数クラブであるにもかかわらず、立派にロータリーを運営していることに賞辞が贈られた。

会場を例会場に移して、クラブ協議会が開催された。11名全員が参加しての協議会となった。白石会長から「4つの地区目標を達成するように頑張ります。」との力強い挨拶の後、各委員長から本年度の活動計画について発表があった。ガバナーは、創立46年を迎えた歴史と伝統を誇りにして、これからのロータリー運動に繋げていただきたいと謝辞を述べられた。

例会のガバナー卓話では、「ロータリーに輝きを」の推進について再度要請した。

また、クラブをサポートするために地区委員会を組織しているの、地区戦略計画とクラブ戦略計画を推奨するために活用して欲しいと要望した。

最後に「嫌なことでも自分に引き受け、良いことは他の者に分かち与える。自分をひとまず置いて、先ず他の者のために働くことこそ、本当の慈悲である。これが将来に『ロータリーの超我の奉仕』である。」と結ばれた。



(文責 地区幹事:中川信喜)

**小樽ロータリークラブ 8月19日(火)**

8月19日(火)、羽部大仁ガバナー、志比川武ガバナー補佐及び田澤泰明地区代表幹事をお迎えしての公式訪問を実施いたしました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では当クラブの会長・幹事と次期会長・幹事合わせて4名で懇談をさせていただきました。小樽ロータリークラブの現状等について坂田会長より報告させていただいた後、羽部ガバナーからはロータリーデーにおける広報活動の重要性や小樽地区でのローターアクトの必要性などについてお話をいただきました。引き続き11時からのクラブ協議会では、各委員会の委員長より自己紹介を兼ねて事業計画とその進捗状況等を発表。その後、羽部ガバナーより講評をしていただき、終始和やかな雰囲気の中で、クラブ協議会を終了いたしました。

クラブ例会では、本年度7月26日の「第48回おたる潮まつり」のねりこみ(踊り)にもご参加いただいたこと、7月30日～8月1日の岩見沢でのわくわく森の親子キャンプへの小樽クラブメンバーの参加などに触れられ、当クラブとは緊密な関係にあることを強調されました。

また、RIテーマと地区目標・重点課題をわかりやすくご説明いただきました。羽部ガバナーの魅力的なお人柄もあり、また、当クラブに顔見知りの会員が多いくこともあって、会員が親しみをもち、かつ真剣に羽部ガバナーの講話に聞き入っていました。羽部ガバナーのロータリーに対する考え方を熱く語っていただいたことで、会員は羽部ガバナーの方針を十分に感じ取ることができました。当クラブで22番目の訪問ということでしたが、羽部ガバナーにおかれましては、お体にご留意されまして、残りの公式訪問をはじめ年度内全ての事業が無事に終了されますことをご祈念申し上げ、公式訪問の御礼とさせていただきます。羽部ガバナー誠にありがとうございました。



**函館亀田ロータリークラブ 8月25日(月)**

8月25日(月)函館亀田ロータリークラブに羽部ガバナー、小泉護太郎第10グループガバナー補佐と公式訪問しました。井上司会長、大角敏朗幹事、豊田雄峰会長エレクト同席の元、井上会長の司会進行で会長・幹事懇談会を開催。会長から広報及びポリオの活動についてクラブ内に賛否両論あり、例会にて詳しい趣旨を参加会員に伝えて欲しいとの要請を受けました。

午後5時過ぎからクラブ協議会をクラブSAAの司会のもとに開会。ロータリー情報のヒントの質問を受け、ガバナーが「ポール・ハリスの他者に対する思いやりは、少年期の宗教的な家庭環境が背景にあり、奉仕の理想とよばれる超我の奉仕は東洋的な表現に近いと思う」と述べ、「仏教の執著心を離す喜捨(布施)の精神へ通ずる」と答えました。

午後6時から例会。ガバナーが「『ポリオ撲滅の宣言』は出ておらず、常在国が10カ国にも広がる勢いに5月17日WHOは緊急事態宣言を出した。RIもポリオを押さえ込む重大な局面と判断、第2510地区としてもこれに取り組むこと」と説明。次に広報活動についても細かく説明し、早速ご協力を戴きました。

閉会後懇談会が開かれ、大変和やかに過ごしました。有難うございました。(文責 地区幹事:長沢祐純)



**余市ロータリークラブ 8月20日(水)**

8月20日(水)羽部ガバナー、志比川ガバナー補佐、佐々木地区幹事をお迎えし、ホテル水明閣にて午前10時より、会長・幹事会が開催され、高見会長から当クラブの特徴や活動状況の説明がされました。

11時からクラブ協議会が開催され、各委員長より活動計画の説明が行われました。各委員長との意見交換のほか、地区が重点課題としているポリオ撲滅に向けての活動や会員増強に関して、羽部ガバナー、志比川ガバナー補佐から貴重な情報やアドバイスをいただき、そしてガバナーの御心遣いもあり、楽しいムードで和やかに会議が進みました。

12時30分より例会が開催され、ガバナーからRIのテーマ・地区の目標・ポリオ撲滅に向けての連携などについてお話をいただき、今後のクラブ活動に向け、とても参考になる有意義な時間を過ごすことができました。



**江差ロータリークラブ 8月26日(火)**

8月26日(火)江差ロータリークラブ例会場のレストラン津花館にて、羽部ガバナー、大日向豊吉第11グループガバナー補佐と公式訪問しました。

会場では半沢慎太郎会長、前川敏雄会長エレクト同席のもと午前10時前から会長幹事懇談会を開催。半沢会長からクラブを取り巻く厳しい現状についての報告を受けました。ガバナーは、江差RCは創立52年を迎える歴史と伝統を誇るクラブであり、江差RCの特色を生かした奉仕活動に特化して欲しい。それぞれの色がそれぞれに光り輝く事を現す仏説阿彌陀經の「青色青光黄色黄光赤色赤光白色白光」を引用し、今後の輝かしい活動を期待されました。

午前11時からクラブ協議会。会員数が11名と少ないため運営は厳しいが、会員相互が団結し全員参加で活動しています。広大な「ロータリーの森」の植樹・維持管理、町の永年功労者表彰(職人・江差追分関係者等)が印象的です。姉妹クラブ委員会があり、友好クラブの岩谷堂RCと姉妹クラブの珠洲RCとの交流を通じて親睦を深め、工夫を凝らし成果を収めている活動に感心しました。

正午から例会、ガバナーが「ロータリーは人づくり」、地域社会に密着した奉仕活動の継続と今後の発展に期待しました。(地区幹事:長沢祐純)



**岩内ロータリークラブ 8月21日(木)**

8月21日(木)午前10時、羽部ガバナーと志比川第6ガバナー補佐に随行して公式訪問をしました。

池田清美会長、岩城直人幹事、井戸幸夫会長エレクトが同席して、岩城幹事の司会で会長・幹事懇談会が開催されました。池田会長から今年度のクラブ運営の方針について、「家族同伴親睦会、夜間例会、職場例会など例会の開催を工夫し、親睦と出席率の向上を図ることや地域社会に密着した奉仕活動の実施」などの詳細な説明がありました。

引き続き各委員長が出席して、クラブ協議会が岩城幹事の進行で開会された。担当委員長から委員会の取り組み、目標について簡潔に、かつ、てきぱきと説明がなされた。さすがに皆さん経験豊富であることに感心しました。例会は点鐘の後、君が代、ロータリーソング、四つのテストそしてロータリーの目的の唱和と続きます。ここでも少人数のクラブながら歴史と伝統が伺えます。また、目を引いたのは黄色の「ニコニコBOXカード」です。各テーブルに備え付けてあります。これならニコニコがし易く、集めやすいのではと思いました。

ガバナーは卓話の中で、前田稔会員が在籍50年を迎えられたことに心から敬意と感謝を込めてお祝い述べられ、会員皆様からも拍手が起こりました。ぜひ地区大会で表彰を受けて下さい。(文責 地区幹事:中川信喜)



**函館セントラルロータリークラブ 8月26日(火)**

8月26日(火)函館セントラルロータリークラブを、羽部ガバナー、小泉護太郎第10グループガバナー補佐と公式訪問しました。

午後4時から坂下賢二会長、中原勝司幹事、鍋谷操子会長エレクト同席の元、会長幹事懇談会を開催。坂下会長の司会の和やかな雰囲気の中で終始今後のロータリー運動についての未来像に忌憚のない意見が出されました。

午後5時からクラブアッセンブリー。創立10年のクラブと思えない程しっかりロータリーを理解し、地域社会の期待に応える奉仕活動を実践していると感じました。「ロータリーデー」については9月に函館ロータリークラブと共催して実施すること。

午後6時30分から公式訪問例会、ガバナーが創立10周年の成功に対して謝辞を述べ、自身の「ロータリーモーメント」を紹介しロータリークラブに入会したいきざつ等について話し、和みました。今年度RIのテーマ「ロータリーに輝きを」について伝教大師最澄の桓武天皇に上奏した「山家学生式」を引用。嫌なことでも自分で引き受け、良いことは他の人にわかち与える。自分をひたすらおいて、まず他の人のために働くことこそ、本当の慈悲である。これこそ、ロータリーがこれ迄110年間営々と築いてきた奉仕の理想であり、「超我の奉仕」と符合するところではないかと、感想を述べた。

その後、幸せに暮らす為にお釈迦様が阿難尊者に語られた「仏説無量寿經」の生活の三規を紹介し閉会した。その後、大懇親会で楽しい時間を過ごしました。小泉ガバナー補佐、連日有難うございました。(地区幹事:長沢祐純)



**長万部ロータリークラブ 8月25日(月)**

8月25日(月)長万部ロータリークラブに羽部ガバナー、小泉護太郎ガバナー補佐と公式訪問しました。

午前10時から会長・幹事懇談会を開催。赤塚章会長、角健幹事が同席。角幹事の司会で和やかに進行されました。赤塚会長より今年度のクラブ運営方針が説明され「ガバナーの地区目標と地区戦略計画の重点課題に取り組み、全面的に協力する」との決意表明を受けました。その後、長万部町役場に河内能宏副町長を表敬訪問。役場前町民憲章碑、花時計の寄贈・毎年の整備と管理の実施等、日頃から地域に密着している活動に対して感謝の言葉をいただきました。早期の北海道新幹線開通に期待。

午前11時からクラブ協議会。「量より質」全員参加で委員会活動を実施する。現況は会員8名。会員増強は地域経済の停滞が深刻であり難しい状況にあるが1名の純増を目標とし退会防止に努め、少数ながら工夫を凝らし活発な活動をしていると感じました。

午後0時10分からの例会ではご当地の名産「蟹飯」を美味しくちょうだいしました。今年度のRIテーマ「ロータリーに輝きを」について伝教大師最澄の「山家学生式」の「一隅を照らす即ちこれ国宝なり」を紹介してロータリアン一人一人に奉仕の理想の実践をお願いしました。(文責 地区幹事:長沢祐純)



**森ロータリークラブ 8月27日(水)**

8月27日(水)森ロータリークラブを、羽部ガバナー、第10グループ小泉護太郎ガバナー補佐と公式訪問し、午前10時から平山博会長、水野建幹事、向宣男会長エレクト同席でクラブ会長・幹事懇談会を開催。ガバナーから個人的だが最古会員の三浦祐伸元会長とは羽部ガバナー、長沢地区幹事それぞれが遠類にあたり、森RCとご縁の深いことが紹介され、親戚に遊びに来たような懐かしい気持ちであると述べ、和やかに進行されました。

午前11時からクラブアッセンブリー。ガバナーが昨年創立50周年を盛会裏に終えた事に謝辞を述べられました。森RCは数年前よりCLPを採用して、組織の再編に率先して取り組んでおり、羽部ガバナー、小泉ガバナー補佐ともに素晴らしい出来栄は参考になると賛辞を送りました。ロータリー財団委員会には、会員一人当たり150ドル、クラブ全体で6150ドルを目指す具体的な数値で示されたことに敬意と感謝を表しました。

公式訪問例会は正午開会、今年度のRIテーマ「ロータリーに輝きを」の推進を地区目標の一番に挙げ、「超我の奉仕」は相手を思いやる心からおこなうのであると強調して結び、終始和やかに過ごしました。(文責 地区幹事:長沢祐純)



# 9月14日 ロータリーデー

第4・第5グループ今年度地区の戦略計画の重点課題の一つ「地区ロータリーデーの実施」を受け、地区が指定した9月14日(日)、札幌市内第4・第5グループ共催でロータリーデーを開催しました。



まず、13時30分から市内11ヶ所(JR札幌駅、大通、狸小路付近等)で街頭募金をを行い、その後札幌パークホテルに於いて、記念講演、ロータリー寄席、最後にチャリティーコンサートと盛りだくさんの内容の一日でした。



街頭募金に参加した11クラブと、これまでにすでに募金を実施されていた3クラブの募金の合計が579,337円、記念講演・寄席の会場募金が20,755円、総合計600,092円となりました。



また、これとは別に、ポリオプラス委員会の企画チャリティーコンサートの益金と募金についても只今集計中で、予想を超えた成果がありました。



基調講演では、ロータリーコーディネーターでポリオに造詣の深い江崎柳節バスター(小牧RC)から「ポリオプラスの現況報告」を丹念にいただきました。多忙の江崎先生には、当地区のロータリーデーのために名古屋日帰りというハードなスケジュールの中、わざわざお出でいただきました。ここに改めてお礼申し上げます。

ロータリー寄席では、札幌在住で吉本所属の桂枝光師匠に約一時間でしたが、時間があつという間に過ぎるお話の数々が会場は笑いの渦だった事は言うまでもありません。



チャリティーコンサートは、東京等で活躍しているJAZZ界注目の歌手シャンティさんをお招きし、伸びやかな歌声に酔いしれながらロータリーデーのプログラムが終了しました。

## 地域に、世界に尽くす、心を育む。

豊かな前づくりに貢献したい、明日を担う子どもたちを支援したい、誰もが平和に暮らせる世界をつくりたい...。国、地域、世界を超えて、120万以上の人々が結びつく国際ロータリー。世界中で、華々たる活動が展開されています。

**地域に根ざしたクラブ独自の活動**

ロータリークラブが、社会へ、世界へ奉仕する豊かな心

北海道新聞社取締役広告部長 木村 博史 対談 国際ロータリー第2510地区ガバナー(地区代表者) 羽部 大仁さん

世界200カ国以上、537の地区に広がる「国際ロータリー」。

地域での活動は、世界との関わりは、どう形成されているのか? 北海道西部の第2510地区を統括するガバナー羽部大仁氏に、ロータリークラブの活動のあらまし、奉仕する心の大切さを伺いました。

**いまこそポリオ撲滅のとき**

「いまこそポリオ撲滅のとき」

「いまこそポリオ撲滅のとき」

「いまこそポリオ撲滅のとき」

**Rotary ロータリーウィーク記念事業 2014年 9月8日(月)~20日(土)**

**記念講演・落語・チャリティーコンサート 9月14日(日)**

札幌パークホテル

9月14日(日) 開演: 15:00~ 開演: 15:30~

第1部 無料 ポリオについての記念講演 江崎 柳節さん

第2部 無料 上方落語 桂枝光さん

第3部 有料 ポリオ撲滅チャリティ JAZZコンサート SHANTI(シャンティ)さん

地区内 ロータリークラブ イベント

● 札幌ロータリークラブ 8月23日 「若い情熱、地域への思い、挑戦する気持。北海道の新しい活力を、時代を切り開くムーブメントを発信する『育〜未来計画』」

● 札幌ロータリークラブ 9月5日 「国際協力のこころみ in TAKIKAWA パナソニック賞賛会」

● 札幌五旗ロータリークラブ(共催 札幌北・北七旗、札幌ロータリークラブ) 9月13日 「ワラジ共済会」(共催、ペンタリア)によるチャリティコンサート

● 札幌ロータリークラブ 9月13日 「国際協力のこころみ in TAKIKAWA パナソニック賞賛会」

● 札幌ロータリークラブ 9月17日 「チャリティコンサート」

● 札幌ロータリークラブ 9月19日 「ポリオ撲滅 PR-市街地活性化推進委員会 チャリティ夜宴会」

● 札幌ロータリークラブ 9月20日 「ポリオ撲滅 30周年チャリティゴルフ大会」

● 札幌ロータリークラブ(共催 札幌北・北七旗、札幌ロータリークラブ) 9月20日 「チャリティマーケット 札幌共済会 札幌共済会 札幌共済会」

● 札幌ロータリークラブ(共催 札幌北・北七旗、札幌ロータリークラブ) 9月20日 「チャリティマーケット 札幌共済会 札幌共済会 札幌共済会」

● 札幌ロータリークラブ 9月22日~14日 「ワラジ共済会」

● 札幌ロータリークラブ 9月14日 「ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会」

## クラブ紹介

### 美唄 ロータリー クラブ



当クラブの特色といえば、先ず第一に挙げなければならないのは美唄クラブの独自性溢れる「心のふれ合うロータリー」というテーマでしょう。  
このテーマは、今年度の岸山会長のご尊父が会長時代に掲げられたテーマであるということを知りました。なんと感動的なロータリー精神を通した見事な親子愛でしょう。これ程までロータリーの「好意と友情」の太い絆を維持し続けようとする姿勢に、私達ロータリアンは学びたいものです。  
ポリオ撲滅運動に関しても、「ポリオ・プラスの為に9月ロータリーウィークデーを開催し、市民向けチラシを配布する」という具体的構想を練っています。美唄クラブであればきっと実現することでしょう。何故なら、先代会長時代の経験豊かな同志が今なお美唄クラブを見守り支えあっているからです。「美しき唄のまち」啄木碑のもとで・・・。

### 江別 ロータリー クラブ



ご承知のように昨年度「安孫子ガバナー」を輩出したクラブです。一言では言い尽くせぬクラブの強靱な結束力を感じさせます。武田会長の方針の中に、「CLPの意義を理解し推進させよう」という一項目があります。その一端を活動計画の中で垣間見ることができます。即ち、「公共イメージ委員会」という斬新な委員会が目につきました。その委員会の中には、「広報委員会」「会報委員会」「ロータリーの友委員会」が内包されています。その前文に「クラブ会長方針に基づき、各委員会と連携し、市民へのロータリー情報の提供を図りながら、理解を深める手法を検討します」とあります。  
このことは、一見当たり前のように感じますが、私達ロータリアンは一体どの程度の市民・町民への啓宣を行っているだろうか。会員増強にも関わる重要な提言では・・・。

### 当別 ロータリー クラブ



早々と「ポリオ撲滅運動」に取り組む当別クラブの真摯な活動が顕著です。会員の中の店主主5名が、自身の店頭で「募金箱」を設置しお客さんへの啓蒙に努めています。  
更に、8月5日の例会においては、「ポリオ・プラスに関する」DVDを鑑賞しています。その目的は、9月6日に行われる「福祉まつり」のパネル展で、当別クラブとしてポリオ撲滅支援のための募金活動の実施に当たり、その予備知識としての学びの場なのです。  
札幌文化圏に隣接する当クラブでは、地の利を生かし様々の特色ある行事を企画しています。その一例、9月の夜間例会では「第18回当別R&Lクラブ交流合同例会」～講演「日米関係について」在札幌アメリカ総領事館首席領事 ジョエレン・ゴーク氏という何とも羨ましいプログラムです。元気溌刺、チャーターメンバーに期待しつつ・・・。

### 栗山 ロータリー クラブ



「私にロータリーへのお誘いの言葉を掛けて下さり光栄です。是非、入会させて下さい。」ある女性新入会員のこぼれです。これ程、素直にすんなりと入会された方は、少なくとも栗山クラブの長い歴史の中では記憶にありません。（因みに、当クラブの女性会員の比率は16.6%）私達を含め各クラブのロータリアンは、如何にして「会員増強」を図るかに苦慮しています。概して会員増強の視点は、「大物一発狙い」に偏りがちです。  
当クラブでは、昨年度「組織検討委員会」を設置し、会員増強・組織改革・年会費・入会金・行事精選等々、総合的に検討を加えました。  
今年度「会員増強セミナー」でも、ロータリーの特質、「高潔性」云々が話題となりましたが、私達は構えず、柔軟に、日常的に入会勧誘を実践しては・・・。  
前例踏襲は減びへの道、勇気を持って改革を  
～金杉 誠 PC談～

### 江別西 ロータリー クラブ



悠大に流れる石狩川と広大な自然「野幌原始林」に囲まれた江別市内で2番目、創立23年目の比較的新しいクラブと言えます。  
平均年齢60代半ばは、年代的には普通クラスと思われませんが、そのクラブの雰囲気たるや何と若々しいことか。然も「笑顔の絶えないクラブ」と言ってよいでしょう。その原因はどの辺にあるのか探ってみました。「クラブの意思決定機関である理事役員会を尊重し、会員間の意思疎通と良い意味での根回しを常に心掛けている。」とのことでした。「ロータリーにNOはない！」よく聞く合言葉ですが、それは会員間の意思疎通が常に図られた上でのことではないでしょうか。  
因みに、支部会長が掲げた今年度のスローガンは「入って学び 出て奉仕を ロータリーに心酔しよう」です。奉仕活動・会員親睦と楽しめる江別西クラブに栄あれ・・・。

### 栗沢 ロータリー クラブ



ご承知のように今年度のRIテーマは、「ロータリーに輝きを」です。この輝きを曙光に譬えるならば、当クラブの一会員による次のような含蓄ある発言が印象的です。  
「過疎と少子高齢化に悩むこの地域において、我がロータリークラブは地域の宝でありたい。」と自負心に溢れています。栗沢に限らず周辺地域にも公共物をはじめ諸々の施設が衰退気味、人口減など過疎化の波が押し寄せられています。こうした中で、ロータリーだけは「地域の宝」として存続させたいという切実な願いなのです。正に「曙光さす地域の栗沢ロータリークラブ」と言えるのではないのでしょうか。  
昨年、5月17日「栗沢RC創立50周年式典」が盛大に行われ、その際、地域の新聞「プレス空知」の一面を埋め、「ここに栗沢ロータリークラブ有り」とその存在感を改めてアピールしていました。  
市内の岩見沢・岩見沢東クラブと「手に手をつないで」更なる発展を・・・。

### 岩見沢 ロータリー クラブ



当クラブは、「ガバナーエレクト・嵯峨義輝」氏の輩出クラブです。昨年度、長い歴史と伝統を基に、盛大な「60周年式典」を終え、岩見沢ロータリークラブの新しい歴史が始まりました。当クラブは、近隣クラブ創立のためのスポンサーとしても数々の功績を残し、今日の第3グループ各クラブの発展、充実の礎を築いた実績を持っています。当クラブより、「活動方針」・例会の「会報」が着実に送付されて来ますので活動の詳細を計り知ることが出来ます。9月14日のロータリーデーにおいては、「ふるさと百餅祭り」会場では鎌田会長を筆頭に、共に活動する岩見沢東、栗沢両RCの会長らとやぐらの上に立ちポリオ撲滅を訴えるほか、会場に募金箱を設置する等その行動力に感銘しています。  
次年度「地区大会開催」という大イベントを控えていますが、「みんなの力で一歩前へ」を合言葉に力強く踏み出しています。「おもてなしの心を」忘れずお待ちしております・・・。

### 岩見沢東 ロータリー クラブ



本年度の重点課題の一つに「第2510地区ロータリーデーの実績にポリオ撲滅に向けて、地区・クラブ・地域社会と連携して行動しよう」とあります。  
当クラブでも正に地域の3クラブの連携のもと、9月14日のロータリーデーに向けて、「ポリオ撲滅キャンペーン募金活動」が展開されました。このような連携プレーが随所に見られることに加え、地域の子供達の健全育成に力を注ぐ活動は、岩見沢東クラブの特色と言えるでしょう。会員増強についても、有能な会員候補を探す場として、商工会議所・青年会議所・ソロプチミスト等各種団体に日常的に働きかけを行っています。  
更に、退会防止策も会員増強の車の両輪の考えのもと、その旺盛な行動力が一層発揮されています。  
地域の特性を生かした蕎麦の播種・稲作など、食育を通して子供達に幸せを・・・。



ロータリーの友11月号は赤平RC4ページで掲載!!

ロータリーの友「わがまち…そしてロータリー」11月号で赤平市と赤平RCが取材対象に決まったのは8月上旬です。初めて当地区のマチとロータリークラブが取り上げられ、掲載されることになりました。(9月号は2690地区真庭市、10月号は2640地区堺市でした。)

その取材は8月25日～27日の日程で、東京から元朝日新聞記者の宮本貢さん、撮影は同じく朝日新聞の元カメラマン水村孝さんお二人で行われました。私は26日だけ取材に同行いたしました。

一行は25日午後から千歳空港から赤平に入り、菊島会長、早川幹事の案内で市内を散策。夜には早くもベテラン会員の皆さんと懇親を深めたようです。

26日は例会出席に始まり、会員の企業である北海道光生舎(高江会員)と空知単板(松尾会員)、エルム工業(菊島会長)の取材に私も同行しました。ベテラン記者の取材は穏やかで、当を得た取材ぶりには感心をいたしました。夜にはローターアクトも参加した親睦会で裏取材もされたようです。

27日は市役所や会員企業を取材に回られて帰路につかれました。翌日「大変いい取材が出来た」とお礼のメールをいただきました。私もどんな紙面になるか今から楽しみです。皆さんも是非お読みください。

ロータリーの友地区代表委員 柳孝一(札幌南RC)



新会員の  
ご紹介 敬称略



留萌RC  
青山 貴幸  
入会日:7月8日  
職業分類:中古車販売業



留萌RC  
櫛井 俊介  
入会日:7月8日  
職業分類:ガス販売業



岩見沢RC  
前田 恒幸  
入会日:8月21日  
職業分類:車両販売

訃報

謹んでお悔やみ

申し上げますとともに

心からご冥福をお祈り致します



工藤 克彦 会員(室蘭北ロータリークラブ)  
2014年8月16日ご逝去(享年59歳)  
【ロータリー歴】  
1992年12月1日入会  
【表彰関係】  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者

2014年10月のロータリーレート 1ドル 106円

【訂正】9月号11頁職業奉仕委員会から「ロータリーの本の紹介」森 光繁著(松本兼二郎訳)の松本兼二郎訳は誤りでした。お詫びして訂正いたします。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌RC	小山 司	会員(3回) 7月15日	札幌南RC	羽部 大仁	会員(10回) 7月1日
新札幌RC	大石 清司	会員(1回) 8月29日	新札幌RC	嘉屋 輝夫	会員(2回) 8月29日
俱知安RC	石本 要	会員(1回) 8月5日	俱知安RC	滝口 直久	会員(1回) 8月5日

米山功労クラブ

札幌南RC	20回 7月1日	新札幌RC	16回 8月29日
-------	----------	-------	-----------

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小樽南RC	吹越 範義	会員(4回) 7月	苫小牧RC	橋本 洋一	会員(1回) 7月
札幌北RC	井上 勝一	会員(1回) 8月	札幌北RC	相沢 美東	会員(3回) 8月
札幌真駒内RC	川越 仁	会員(1回) 8月	札幌真駒内RC	中山 裕視	会員(6回) 8月
俱知安RC	中井 直樹	会員(1回) 8月	俱知安RC	旭 克久	会員(1回) 8月

ポール・ハリス・フェロー

美唄RC	平鍋 孝仁	会員 8月	北斗RC	秋田 厚也	会員 8月
------	-------	-------	------	-------	-------

文庫通信



(324号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

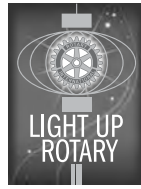
地区大会講演 他

[下記申込先:ロータリー文庫]

- ◎「80歳エベレスト登頂～希望の奇跡」 三浦雄一郎 2014 8p (第42回ロータリー研究会報告書)
- ◎「世界遺産としての富士山」 井上輝夫 2014 3p (米山梅吉記念館館報)
- ◎「違うことはいいことだ」 大宅映子 2014 4p (D.2580地区大会の記録)
- ◎「ピンチをチャンスに!」 東国原英夫 [2014] 11p (D.2790地区大会記録誌)
- ◎「グローバル時代の企業経営」 張富士夫 2014 4p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎「『お金の世界』から『いのちの世界へ』」 菅野典雄 2014 16p (D.2510地区大会記録誌)
- ◎「『顔が赤くなる人は酒を飲むな』って…!?」 岡村健 2014 5p (福岡南RC月報)
- ◎「人間はいつ歳をとるのか」 牧田静二 1998 2p (月曜短信)
- ◎「天皇・皇后両陛下にお仕えして」 羽毛田信吾 2014 4p (D.2600下伊那グループIM&会員セミナー報告書)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝日



# 2015年サンパウロ国際大会のご案内(第一報)

地区RI国際大会推進委員会  
委員長 細川 好弘(静内RC)

第2510地区ロータリアンの皆さま、来年の国際大会は2015年6月6日(土)から9日(火)にかけてブラジル・サンパウロで開催されます。当地区RI国際大会推進委員会は、地球の裏側と遠方になりますが、南米を知るまたとないチャンスととらえて、次の3コースを企画いたしました。

\*Aコースは大会参加後、リオデジャネイロ、そしてアマゾンの中流域、セルバ(ジャングル)に囲まれた別天地のマンウスで大自然の素晴らしさを。

\*Bコースは大会終了後、リオデジャネイロにてコルコバードの丘、ボンデアスカー、などの観光のほか、コパカバーナ及びイパネマの浜辺で、のんびりと静養。

\*Cコースは大会終了後、ニューヨークにて観光を兼ね、のんびり静養。

又、A、B、C各コース共に北海道ナイトを企画しており、日本人親善朝食会にも参加できます。特にAコースにつきましてはブラジルの半分近くを占め、緑の絨毯を敷き詰めたアマゾンのセルバ地帯を、巨大な大蛇がのたうちまわるように果てしなく流れる大河アマゾンの、高空からの眺めは格別と思います。

ご家族お誘いあわせで参加なさり、世界中のロータリアンと知り合い、新たな出会いをつくり、貴重な体験を宝としていただきたくご案内致します。尚詳細(旅行費用、ホテル、登録方法)のご案内については11月または12月のガバナー月信にてご案内いたします。

## Aコース 国際大会参加とリオデジャネイロ・アマゾン大自然満喫10日間(旅行代金の確定ご案内はガバナー月信11月または12月を予定しています)

日	日 時	地 名	現地時刻	交通機関	行 程	食 事		
						朝	昼	夕
1	6月3日(水)	新千歳空港発 羽田空港着	20:30 22:05		国内線にて羽田空港へ ※着後国際線移動	—	—	→
2	6月4日(木)	羽田空港発 ドバイ空港着 ドバイ空港発 サンパウロ着	0:30 6:45 8:35 16:30	EK313 EK261	(機中泊) ※羽田空港にて出国手続きを済ませ一路サンパウロへ【飛行時間約11時間15分】 ※ドバイ、トランジット(乗継) ※飛行機を乗り継ぎ一路サンパウロへ向け出発【飛行時間約14時間55分】 ※グアルーリョス国際空港、入国を済ませホテルへ ※北海道ナイト予定 (サンパウロ泊)	→	→	—
3	6月5日(金)	サンパウロ滞在	終日	専用車	※国際大会参加 午前または午後 ※〈午前または午後サンパウロ市内観光・パウリスタ大通り・東洋人街・イピランガの丘など〉 (サンパウロ泊)	ホテル	レストラン	—
4	6月6日(土)	サンパウロ滞在	終日	専用車	※国際大会参加 (サンパウロ泊)	ホテル	—	—
5	6月7日(日)	サンパウロ 約1時間 リオデジャネイロ	朝 午前	航空機 専用車	※サンパウロを後にリオデジャネイロへ ※着後:リオデジャネイロ市内観光 〈コルコバードの丘、ボンデアスカー、イパネマ海岸など〉 (リオデジャネイロ泊)	ホテル	レストラン	レストラン
6	6月8日(月)	リオデジャネイロ 滞在	終日	専用車	※リオデジャネイロ市内観光(朝はゆっくりしていただきます) 〈マラカナンサッカー場、カテドラル、カーニバル会場など〉 (リオデジャネイロ泊)	ホテル	レストラン	レストラン
7	6月9日(火)	リオデジャネイロ 約1時間 サンパウロ	午前 午後	航空機 専用車	※再びサンパウロへ向け出発 ※着後サンパウロ市内観光	ホテル	レストラン	レストラン
8	6月10日(水)	サンパウロ発 ドバイ空港着	1:25 21:15	EK262	※出国手続きを済ませ一路ドバイ経由成田へ向け出発【飛行時間約13時間50分】 ※ドバイ、トランジット(乗継) (機中泊)	→	→	→
9	6月11日(木)	ドバイ空港発 成田空港着 羽田空港発 新千歳空港着	2:50 17:35 21:00 22:35	EK318	※飛行機を乗り継ぎ成田へ向け出発【飛行時間約9時間45分】 ※着後、入国手続きを済ませ羽田空港へ移動 ※国内線にて新千歳空港へ ※着後、解散	→	—	—

この日程は2014年9月26日現在のスケジュールです。発着時間、交通機関などは変更になることがあります。

EK=エミレイブ航空

【Aコース・Bコース/お問合せ・お申込先】(株)日本旅行北海道札幌支店 札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階  
電話:011-208-0170 FAX:011-208-0174 担当:西村・前野

## Bコース 国際大会参加とリオデジャネイロ8日間(旅行代金の確定ご案内はガバナー月信11月または12月を予定しています)

日	日 時	地 名	現地時刻	交通機関	行 程	食 事		
						朝	昼	夕
1	6月3日(水)	新千歳空港発 羽田空港着	20:30 22:05	航空機	国内線にて羽田空港へ ※着後国際線移動	—	—	→
2	6月4日(木)	羽田空港発 ドバイ空港着 ドバイ空港発 サンパウロ着	0:30 6:45 8:35 16:30	EK313 EK261	(機中泊) ※羽田空港にて出国手続きを済ませ一路サンパウロへ【飛行時間約11時間15分】 ※ドバイ、トランジット(乗継) ※飛行機を乗り継ぎ一路サンパウロへ向け出発【飛行時間約14時間55分】 ※グアルーリョス国際空港、入国を済ませホテルへ ※北海道ナイト予定 (サンパウロ泊)	→	→	—
3	6月5日(金)	サンパウロ滞在	終日	専用車	※終日サンパウロ市内観光 〈パウリスタ大通り・東洋人街・イピランガの丘など〉 ※夜北海道ナイト (サンパウロ泊)	ホテル	レストラン	—
4	6月6日(土)	サンパウロ滞在	終日	専用車	※国際大会参加 (サンパウロ泊)	ホテル	—	—
5	6月7日(日)	サンパウロ 約1時間 リオデジャネイロ	朝 午前	専用車 専用車	※サンパウロを後にリオデジャネイロへ ※着後:リオデジャネイロ市内観光 〈コルコバードの丘、ボンデアスカー、イパネマ海岸など〉 (リオデジャネイロ泊)	ホテル	レストラン	レストラン
6	6月8日(月)	リオデジャネイロ 滞在	終日	専用車	※リオデジャネイロ市内観光(朝はゆっくりしていただきます) 〈マラカナンサッカー場、カテドラル、カーニバル会場など〉 (リオデジャネイロ泊)	ホテル	レストラン	レストラン
7	6月9日(火)	リオデジャネイロ 約1時間 サンパウロ	午前 午後	航空機 専用車	※再びサンパウロへ向け出発 ※着後サンパウロ市内観光	ホテル	レストラン	レストラン
8	6月10日(水)	サンパウロ発 ドバイ空港着	1:25 21:15	EK262	※出国手続きを済ませ一路ドバイ経由成田へ向け出発【飛行時間約13時間50分】 ※ドバイ、トランジット(乗継) (機中泊)	→	→	→
9	6月11日(木)	ドバイ空港発 成田空港着 羽田空港発 新千歳空港着	2:50 17:35 21:00 22:35	EK318	※飛行機を乗り継ぎ成田へ向け出発【飛行時間約9時間45分】 ※着後、入国手続きを済ませ羽田空港へ移動 ※国内線にて新千歳空港へ ※着後、解散	→	—	—

この日程は2014年9月26日現在のスケジュールです。発着時間、交通機関などは変更になることがあります。

## Cコース サンパウロ・ニューヨーク8日間(旅行代金の確定ご案内はガバナー月信11月または12月を予定しています)

日	日 時	地 名	現地時刻	交通機関	行 程	食 事		
						朝	昼	夕
1	6月3日(水)	新千歳空港発 成田(羽田)着 成田空港発 ニューヨーク着 ニューヨーク発 ニューヨーク着	午後 午後 夕刻 夕刻 夜	航空機 航空機 航空機	航空機にて羽田または、成田空港へ 航空機にてニューヨークへ 航空機にてサンパウロへ (機中泊)	—	—	機内食
2	6月4日(木)	サンパウロ着	朝 午後	専用車	到着後、ホテルへ(お部屋はすぐにご利用できます) ・サンパウロ市内見学 (サンパウロ泊)	機内食	機内食	—
3	6月5日(金)	サンパウロ着	朝 午後	専用車	到着後、ホテルへ(お部屋はすぐにご利用できます) ・市内見学 (サンパウロ泊)	機内食	機内食	—
4	6月6日(土)	サンパウロ発	9:00 夕刻 夜	終日 専用車 航空機	・サンパウロ市内見学 ・大会会場にて大会受付 北海道ナイト予定 (サンパウロ泊)	—	—	—
5	6月7日(日)	サンパウロ発	9:00 夕刻 夜	終日 専用車 航空機	ロータリー国際大会本会議 大会会場から、空港へ 航空機にてニューヨークへ (機中泊)	—	—	—
6	6月8日(月)	サンパウロ着	朝 午後	専用車	到着後、ホテルへ(お部屋はすぐにご利用できます) ・市内見学 (サンパウロ泊)	機内食	機内食	—
7	6月9日(火)	サンパウロ着	朝 午後	専用車	到着後、ホテルへ(お部屋はすぐにご利用できます) ・市内見学 (サンパウロ泊)	機内食	機内食	—
8	6月10日(水)	サンパウロ発	朝 午後	専用車 航空機	到着後、ホテルへ(お部屋はすぐにご利用できます) ・市内見学 (サンパウロ泊)	機内食	機内食	—

この日程は2014年9月15日現在のスケジュールです。発着時間、交通機関などは変更になることがあります。

【Cコース/お問合せ・お申込先】産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモビル4階  
電話:011-271-5388 FAX:011-271-5621 担当:斉藤・矢田目

# 2014-2015年度 国際ロータリー第2510地区ローターアクト 第42回地区協議会報告書



ホストクラブ札幌南ローターアクトクラブ  
第42回地区協議会実行委員長 吉田 剛

平成26年9月6日(土)ルネッサンスサッポロホテルにて国際ロータリー第2510地区ローターアクト第42回地区協議会を開催致しました。

今回の地区協議会のプログラムでは、歴代地区代表経験者のOB・OGの方と現役ローターアクトクラブとのディスカッションを行いました。

「アクトと仕事の違う点」、や「アクトでの経験をどう生かすか」などが討論の議題でした。「社会奉仕活動を通して、自分が社会の役に立っていると実感できた。」「仕事での失敗は責任が伴うが、アクトでは失敗を恐れず挑戦できる。」などの意見がありました。

OB・OGのメンバーとは全員交流を深めることが出来ました。特に、現在は各クラブでメンバーが増えている状況で、新規に加入したローターアクトメンバーに対しては活動のイメージがつかめたのではないかと感じました。

また、アクトがどのような活動してきたのか、どのような事にやり甲斐を感じたかなど、先輩のOB・OGと情報交換をしていくうちにどんどんイメージが膨らんでいったとの声を多くいただきました。



札幌南ローターアクトクラブメンバー。  
内2名はタイ人留学生が在籍。



ローターアクトに12年間在籍。  
札幌南ローターアクトクラブOG 安藤さん



ディスカッションテーマ：

- 「アクトと仕事の違い」
- 「会員増強するには」
- 「アクトの楽しみ方」
- 「アクトの経験を今後はどういするか」
- 「アクトに求められる人材とは」
- 「卒業までにやっておきたいこと」



ロータリアンの方を含め総勢77名の方にご登録を頂きました。



懇親会にて

今年の札幌南ローターアクトは、12月には創立40周年記念式典を行う予定です。今回の反省を踏まえ、今後の大会ではスムーズな大会運営を実現させます。ありがとうございました。

## 出席率・会員数

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率	
			2014.7.1	2014.8.31	増減	内女性		
1	深川	4	33	35	2	2	88.21	
	羽幌	4	47	47	0	2	79.79	
	妹背牛	3	10	12	2	0	80.55	
	留萌	3	40	42	2	3	82.22	
	小計		130	136	6	7	82.69	
2	赤平	3	29	29	0	0	77.80	
	芦別	3	37	37	0	2	76.85	
	砂川	3	38	38	0	0	91.23	
	滝川	3	81	84	3	2	77.00	
		小計		185	188	3	4	80.72
	3	美唄	3	30	30	0	0	89.70
江別		3	32	32	0	1	84.38	
江別西		3	25	26	1	3	97.40	
岩見沢		3	74	77	3	0	92.90	
岩見沢東		4	23	24	1	3	78.68	
栗沢		3	24	24	0	1	93.10	
栗山		4	24	24	0	4	96.88	
当別		4	25	27	2	0	89.49	
	小計		257	264	7	12	90.32	
4	札幌	3	112	121	9	0	98.56	
	札幌はまなす	3	12	14	2	2	83.33	
	札幌北	4	33	34	1	3	94.70	
	札幌モーニング	3	40	42	2	0	74.93	
	札幌西	3	50	50	0	7	84.47	
	札幌西北	3	31	31	0	3	78.20	
	札幌手稲	4	37	37	0	3	93.67	
		小計		315	329	14	18	86.84
5	札幌東	3	114	117	3	0	98.78	
	札幌清田	3	17	17	0	4	100.00	
	札幌幌南	4	57	60	3	4	100.00	
	札幌真駒内	3	22	23	1	3	100.00	
	札幌南	5	78	81	3	0	98.77	
	札幌大通公園	3	12	13	1	1	74.35	
	新札幌	3	22	23	1	2	88.89	
		小計		322	334	12	14	94.40
6	岩内	3	18	18	0	1	87.74	
	倶知安	3	40	41	1	5	65.00	
	小樽	4	73	76	3	0	88.14	
	小樽南	3	71	73	2	2	91.59	
	小樽銭函	3	19	20	1	2	65.00	
	蘭越	4	11	11	0	0	100.00	
	余市	3	45	46	1	4	84.00	
	小計		277	285	8	14	83.07	

## 8月出席率・会員増減数

- クラブ数 70クラブ
- 期首会員数 2,497人
- 当期末会員数(女性) 2,580人(118人)
- 増加会員数 83人
- 当月平均出席率 84.55%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率	
			2014.7.1	2014.8.31	増減	内女性		
7	千歳	3	52	57	5	5	90.20	
	千歳セントラル	4	31	34	3	3	72.80	
	恵庭	3	46	48	2	3	84.80	
	北広島	3	17	17	0	1	90.20	
	長沼	3	19	19	0	3	85.00	
	由仁	3	5	7	2	0	71.43	
	小計		170	182	12	15	82.41	
8	えりも	4	20	22	2	1	98.86	
	三石	3	15	15	0	2	81.90	
	様似	3	24	24	0	1	67.36	
	静内	3	60	62	2	0	81.86	
	浦河	3	22	24	2	1	100.00	
		小計		141	147	6	5	86.00
9	伊達	3	57	57	0	0	84.24	
	室蘭	3	37	38	1	0	96.40	
	室蘭東	3	35	35	0	0	80.90	
	室蘭北	3	40	39	-1	3	70.00	
	登別	3	31	31	0	1	83.87	
	洞爺湖	4	8	8	0	0	90.60	
	小計		208	208	0	4	84.34	
10	函館	3	81	86	5	1	80.67	
	函館亀田	3	41	41	0	5	92.50	
	森	3	39	39	0	0	70.00	
	七飯	3	18	17	-1	0	68.60	
	長万部	3	9	8	-1	0	79.16	
	函館セントラル	3	27	27	0	2	74.36	
	小計		215	218	3	8	77.55	
11	江差	3	10	10	0	1	60.00	
	函館五稜郭	4	46	49	3	0	93.19	
	函館東	3	46	50	4	5	75.18	
	函館北	3	21	21	0	0	93.65	
	北斗	3	14	15	1	0	51.10	
	松前	2	4	4	0	0	75.00	
	小計		141	149	8	6	74.69	
12	白老	3	31	33	2	2	85.50	
	苫小牧	4	48	50	2	2	87.42	
	苫小牧東	3	27	27	0	5	87.66	
	苫小牧北	3	30	30	0	2	88.10	
		小計		136	140	4	11	87.17
		合計		2,497	2,580	83	118	84.55

## 地区カレンダー(10月・11月)

10月 職業奉仕月間・米山月間		11月 ローターリー財団月間	
1(水)		1(土)	
2(木)		2(日)	
3(金)	2014-15年度地区大会記念ゴルフ大会(北広島)	3(月)	文化の日
4(土)	2014-15年度地区大会(札幌)	4(火)	公式訪問(岩見沢東RC)
5(日)	2014-15年度地区大会(札幌)	5(水)	公式訪問(恵庭RC)
6(月)		6(木)	公式訪問(芦別RC)
7(火)	公式訪問(札幌はまなすRC)	7(金)	
8(水)	公式訪問(新札幌RC)	8(土)	米山学友会定時総会・懇親会予定(札幌)
9(木)	公式訪問(江別RC)	9(日)	
10(金)		10(月)	
11(土)	第13回ロータリー全国囲碁大会(東京)	11(火)	公式訪問(北広島RC)
12(日)		12(水)	
13(月)	体育の日	13(木)	公式訪問(岩見沢RC)
14(火)	公式訪問(浦河RC、様似RC)	14(金)	公式訪問(苫小牧RC)
15(水)	公式訪問(静内RC)	15(土)	
16(木)	公式訪問(えりもRC)	16(日)	
17(金)		17(月)	公式訪問(札幌南RC)
18(土)	公式訪問(札幌手稲RC)	18(火)	公式訪問(札幌西RC)
19(日)		19(水)	公式訪問(札幌RC)
20(月)	公式訪問(三石RC)	20(木)	
21(火)	公式訪問(札幌大通公園RC)	21(金)	公式訪問(札幌南RC)
22(水)	公式訪問(白老RC)	22(土)	第10・第11グループ合同IM(函館)
23(木)	公式訪問(札幌西北RC)	23(日)	勤労感謝の日
24(金)		24(月)	振替休日
25(土)	函館RC創立80周年記念式典(函館)	25(火)	ロータリー財団地域セミナー(東京)
26(日)		26(水)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会(東京)
27(月)		27(木)	ロータリー研究会(東京)
28(火)	公式訪問(赤平RC)	28(金)	ロータリー研究会(東京)
29(水)	公式訪問(砂川RC)	29(土)	～12/3(水)国際奉仕検証事業(タイ)
30(木)	公式訪問(滝川RC)	30(日)	
31(金)			



### 表紙の解説

#### 柿食へば 鐘が鳴るなり 法隆寺

8月号に一度登場した子規の句が再登場しました。柿の絵で子規の句を思い起こしました。子規は無類の「柿好き」だったと言われています。

私は最澄の「一隅を照らす此即ち国宝なり」とを表紙の言葉にしようと考えていたのですが、柿を始めに書いたため「柿食へば 鐘が鳴るなり 法隆寺」が出て来て、子規の再登場となりました。

7月8日に最初の公式訪問にお邪魔して依頼、何度もお話しに出て来たのが最澄の「山家学生式」の一文でした。

はぶあなイスにも書きましたが、一灯隅照万灯照國は将に今年のRIテーマ「ロータリーに輝きを」を推進する上で最も相応しい言葉だと思います。若者の育成が比叡山延暦寺の創建精神だったのです。

一つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。ロータリアン一人一人が自分の役割を懸命に果たすことがRIのテーマを推進する事で、世界中のロータリアン120万人が地域社会を照らすことにより世界中を輝かし、世界中を平和に導くとゲイリー・ホァン国際ロータリー会長の言葉です。

羽部